



CONTENTS

- 1頁 ・奈良東病院 院長就任のご挨拶
- 2頁 ・BCP(事業継続計画)としてのコロナ対応
・奈良東病院検査室について
- 3頁 ・巣立ちのときを迎えて
～第一号の卒園児を送り出しました～
・入社式 ～今年も多くの仲間を迎えました～
- 4頁 ・マイナンバーカードが健康保険証として利用できます
・ケアハウスふる里リニューアル
～外壁塗装とルームサービス～

第135号 ふれあいの里
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者：鉄村 信治
編集：ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



医療法人健和会 奈良東病院
院長 菊池 英亮

奈良東病院

院長就任のご挨拶

この4月に医療法人健和会奈良東病院の院長に就任しました菊池英亮と申します。前任地の奈良県総合医療センター在職中は、奈良東病院の職員の皆さんには大変お世話になりました。この「ふれあい」の誌面をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、小生の自己紹介を少しさせていただきます。私は「寒鰯」で有名な富山県氷見市の生まれです。叔父が奈良で医師をしていた関係で、小学生の頃から奈良にはよく遊びに来ていました。奈良県立医科大学卒業後、恩師の故辻井正先生が主宰されていた奈良県立医科大学第三内科(消化器・肝臓・代謝内科)に入局しました。大学で臨床、研究、後進の指導等に従事した後、県立奈良病院に異動しました。昭和50年に建設された旧県立奈良病院は老朽化が激しく、高度急性期医療を担う新たな基幹医療機関が必要であるということから、新センター建設が計画されました。平成26年に旧県立奈良病院は奈良県総合医療センターと名称変更され、私は新センター移転を控えた平成27年に院長を拝命しました。平成30年5月1日の新センター移転後、高度急性期医療センターとしての機能を発揮できるようになってきたと思った矢先に、「コロナ禍」に見舞われました。今まで当然だと思われた多くの事柄がそうではなくなり、「コロナ禍」における救急医療、がん医療のあり方、さらには医療機関の機能分担、連携の仕組みなど対応を迫られることが数多くありました。私たちの社会生活

でも、この感染症にどのように対峙していけば良いのかなど解決すべき問題が山積しています。「禍を転じて福と為す」(戦国策、史書「蘇秦列伝」)と言う言葉がありますが、我々が現状を乗り越え、如何に未来に向かうのか私たちの智慧が試されているのだと思います。

私自身は今まで急性期医療の現場ばかりを歩んできましたので、慢性期医療の幅の広さと奥の深さを強く感じています。当然のことですが、患者さんにとっては急性期・慢性期の医療の区別があるのではなく、患者さんに寄り添った全人的な医療が提供できるかどうか私たちが医療人に問われているのだと思います。

釈迦に説法ですが、一口に慢性期医療と言っても多種多様な機能が求められるようになってきています。これからの慢性期の医療には幅の広い知識と奥の深い技が必要だと思います。私たちの社会は、今まで経験したことのない「少子高齢化」時代に突入しています。今回のコロナ禍においても高齢者への対応が大きな課題となりました。これからこそ、医療の現場において社会全体を俯瞰した大きな視点が必要で、様々な機能を併せ持ったいわゆる「面倒見のいい病院」の存在が益々重要になっていくものと思います。

今後は奈良東病院の一員として、「患者さん中心の医療・看護・介護により地域社会へ貢献し、常に研究心と向上心を持ち、和を尊ぶ」という健和会の理念に基づいて行動し、健和会の益々の発展に寄与できるよう一意専心務めて参りたいと決意を新たにしています。みなさんのご理解とご協力を宜しくお願いします。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

BCP(事業継続計画)としてのコロナ対応

4月に「なら清寿苑」で利用者18名、スタッフ11名がコロナウイルスに感染するクラスターが発生しました。私は、理学療法士でリハビリテーション業務に従事しており、介護業務は専門ではありません。その私に「今から業務の補助に行ってくれないか?」と連絡がありました。初日は、感染された利用者の情報収集などの雑務でした。しかし、2日目以降、徐々に出勤予定のスタッフが出勤前検査で陽性となり、現場で介護職員と同じ内容の業務をするようになりました。専門職ではないため、分からないことが多く、質問をしたくても聞けるスタッフが濃厚接触者の部屋に入っており、質問できないこともしばしばありました。利用者さんに聞いても「やりたい方法でやって」と言われてしまい、困ってしまうこともありました。

東日本大震災以降、政府から災害があっても業務を継続できるように平時から計画しておくようにと通達があります。その計画を考える災害対策委員長も私は兼任しています。今までには、自然災害に対する事業継続計画に関する研修会を受けたことがありましたが、クラスターについては考えてもいませんでした。当法人では、これまで小規模なクラスターを経験してきましたが、まさか大規模なクラスターには発展

しないだろうと思い込み、他法人でのクラスターのニュースを聞いても現実味がなかったというのが正直なところでした。

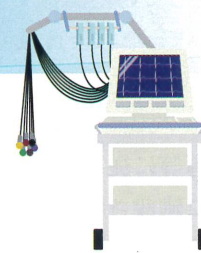
ところが、突然、我が身に降り掛かった禍で、身をもって事前に最悪の状況を想定して対策を考えておく重要性を今回感じることができました。



災害対策委員会でもクラスター発生時の事業継続の話し合いを開始しました。話し合いでは、今回の経験が非常に生きています。今回の経験を糧に少しでも現実味のある対策の作成に尽力しようと考えています。

(医療法人健和会 リハビリテーション科 統括部長 吉本 陽二)

奈良東病院 検査室について



皆様は臨床検査技師をご存じでしょうか?
残念ながら、多くの方々にご存じないか放射線技師と間違われます。放射線技師を扱ったテレビドラマ『ラジエーションハウス』を羨ましく思います。
(テレビドラマに出てくる臨床検査技師は犯人役ばかりのような…)

血液や尿、心電図検査など業務内容を伝えて何となく理解していただけます。

最近ではコロナウイルスの抗原やPCR検査などを行って



いると伝えると若干引かれているように感じます。

ここで奈良東病院 検査室で使用している機器を紹介いたします。

- ビトロス5600(オーソ)…血糖や肝機能など生化学的検査
- XN-550(シスメックス)…赤血球や白血球数など血液学的検査
- ABL80(ラジオメーター)…血液中の酸素濃度などを測定する血液ガス分析装置
- ルミパルスG600II(富士レビオ)…コロナウイルス抗原定量
- AutoAmp(島津製作所)…コロナウイルスPCR
- GeneXPert(ベックマン・コールター)…コロナウイルスPCR
- 心電計FCP-8700(フクダ電子)…心臓の電気の流れを測定する
- 超音波検査装置F37(富士フィルム)…超音波を用いて心臓や肝臓などを観る

品質管理などのため定期的に清掃、管理試薬を用いての精度管理、メーカーや検査技師会主催の精度管理事業などに参加しています。今後も精確で速い結果報告を信条として皆様に信頼いただける検査室を目指してまいります。

〈追伸〉

オーストラリアでは5月ごろからインフルエンザウイルスが流行しています。日本でも今年の冬は流行する可能性がございます。

(奈良東病院 検査室 主任 中島 浩司)

巣立ちのときを迎えて～第一号の卒園児を送り出しました～

2022年3月、たけのご保育園から第一号の卒園児を送り出すことが出来ました。

このことは、子どもたちにとっても、私たち保育士にとってもよい刺激となりました。

卒園とは、「いつも大人に見守られていた保育園」という小さな社会から、「自立した新しい社会」に第一歩を踏み出すということです。保育園で身に着けた生きる力と学びに向かう力、そしてその経験が次の小学校へと引き継がれていくのです。

今回紹介する卒園児は、2021年11月に入園してきた子どもです。海外からきて初めての土地で慣れない日本の生活に不安でいっぱいだったのにも関わらず、明るく元気に毎日



を過ごしてくれました。そしていつしか、子どもたちから一緒に遊んでくれる憧れのお兄さんの存在になっていきました。

子どもの力は素晴らしいと感じます。

さて、年長児は年下の子どもたちにとっての身近なお手本となる存在です。そして、たけのご保育園が進むべき保育・教育の姿を表現してくれています。

今年度も年長児が1名在籍しております。大人には見えないうところで、子どもたちは、子ども同士で文化を創り、引き継いでいます。子どもたちが創ったその文化でたけのご保育園の歴史が創られていくものと感じています。

(たけのご保育園 園長 峯 幸司)

入 社 式 ～今年も多くの仲間を迎えました～

4月1日、2022年度奈良東病院グループの入社式を行いました。今年もコロナウイルス感染対策を徹底し、時間や内容も縮小した形での式となりましたが、看護師4名、理学療法士3名、作業療法士5名、言語聴覚士1名、介護福祉士5名、事務職員1名、計19名とたくさんの新入社員を迎えることができました。

空の青と満開の桜のコントラストがとても爽やかな快晴に恵まれた入社式、会場に集まってくる新入社員の皆さんは、少し緊張した面持ちでしたが、学生から社会人となったキリッとした立派な姿勢がとても新鮮でキラキラしていました。

学校でたくさんのことを学び、これから社会人としての一歩を踏み出すことを決意した、期待と自信に満ちあふれた顔がとても印象的でした。

今年も介護福祉士養成校を卒業した外国人介護福祉士が入社しました。入社した5名は、慣れない国で、日本語習得という高いハードルを越え、アルバイトをしながら福祉のことを

学び、卒業を迎え、奈良東病院グループに入社してくれました。その頑張りや、きっと仕事にも活かされると思います。

奈良東病院グループでは、医師をはじめ、看護師やセラピスト、



介護職員、事務職員、その他、たくさんの職種のスタッフが協力しあい、一人ひとりの患者様、利用者様へ医療・福祉のサービスを行います。そのチームの一員として新たに彼らを迎えることができ、一緒に働けることを誇りに思います。これからも一緒に頑張っていきましょう。

(奈良東病院グループ 総務課 係長 柿本 祥子)



マイナンバーカードが健康保険証として利用できます

奈良東病院では、マイナンバーカードを利用した「オンライン資格確認システム」を導入しています。「オンライン資格確認システム」により、マイナンバーカードのICチップ内の情報をもとに、オンライン上でリアルタイムに医療保険の資格情報について確認できます。また、下記のとおり様々なメリットがあります。

<4つの主なメリット>

①医師や薬局に情報を共有できる

被保険者であるご自身の同意がある場合に限って、過去の特定健診や処方された薬の情報が医師や薬局に共有されます。わざわざ病院経由で情報を引き継いでもらう必要がないので、迅速かつ正確な診断につながります。

②自分の特定検診、薬、医療費の情報が確認できる

「マイナポータル」のサイトやアプリのマイページに、過去に受けた特定検診の結果や処方された薬、支払った医療費に関する情報が蓄積されていきます。自分の健康や受けた医療について、いつでも確認できます。

③医療費控除の申告が簡単になる

「マイナポータル」に医療費の情報が蓄積されるため、確定申告で医療費控除を申告する際、領収書を整理する必要がなくなり、オンラインでの申告が簡単になります。

④手続きなしで高額療養費制度の限度額を超える一時的な支払いが不要になる

「限度額適用認定証」がなくても高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

<ご利用方法>

奈良東病院 受付(医事課)職員に声をおかけください。詳しくご説明させていただきます。



「マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!」の詳細な情報は左記QRコードからアクセスしてください。



(奈良東病院 事務室 主任 橋本 重之)

ケアハウスふる里リニューアル ～外壁塗装とルームサービス～

ケアハウスふる里は、平成12年に開設され、今年で23年目となりました。

経年による汚れが目立ってきた外壁も今年に入り防水塗装が施され、美しくリニューアルしました。

ふる里ではこれまで、月ごとの担当スタッフが企画したユーモア溢れる行事や、クラブ活動、レクリエーション、体操や喫茶をおこない、入居者様に充実した日々を送っていただけてきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に考え、あらゆることを制限せざるを得ない状況が続いています。入居者様が楽しみにしておられる催しの中止をお知らせする度、私達職員もやりきれない気持ちになります。

何か再開できることや新たな企画はないかと考える中、喫茶の



中止が入居者様の水分摂取量の低下にならないかと心配する声が上がりました。食堂で行っていた喫茶を再開するかどうかスタッフで相談した結果、感染防止に配慮し、ルームサービスという形で取り組むこととしました。5月末より、日本語学校からのアルバイト学生と居室にコーヒー・紅茶を届けるワゴンによるルームサービスを行っています。入居者様からは「まあ、嬉しい、わざわざ持ってきてくれるの」と喜んでいただけています。どのような状況下でもアイデアひとつで笑顔が生まれることに喜びを実感しています。また、天気の良い日は玄関先での日光浴なども行っています。居室ばかりでなく、外に出ることで入居者同士の会話も弾み、気持ちもリフレッシュできるのではないかと考えています。今後も、私達のできることを模索し、笑いあふれる充実した日々を過ごしていただけるよう、あらゆる企画を練り、入居者様のために精一杯取り組んでいきたいと思っています。

(ケアハウスふる里 介護主任 古谷 充方子)

編集後記

梅雨も中盤にさしかかり、雨の日が続き、ジメジメと蒸し暑い日が多くなってきました。今年は例年に比べると少し遅めの梅雨入りとなったようです。気温が高くなると熱中症に気をつけなければなりません。のどの乾きを感じる前にこまめに水分補給をお願いします。

さて、最近の新型コロナウイルスの感染動向に目を向けますと、新規感染者数については少し落ち着きを見せているように感じられます。しかしながらまだ完全に収束を迎えたわけではありません。今後も手洗い・うがいとともに適切なマスクの着用をお願いします。

また、4回目のワクチン接種も始まっています。3回目までの接種とは違い、接種対象者は60歳以上の方、または18歳以上60歳未満の方で基礎疾患を有する方となっています。市町村等から案内が届いているかと思うので、確認をお願いします。

梅雨が明けますと夏本番を迎えます。今年も猛暑が予想されます。エアコンを適切に使用し、体調管理を行っていただきますようお願いいたします。

(広報委員長 橋本 重之)

